

## 第1章 各アニメ作家の海外における評価等

### 1. 日本のアニメ・マンガに対する海外での評価

#### (1) 総論

スタジオジブリの「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞長編アニメーション部門を受賞するなど、日本のアニメは質、人気ともに高い。世界 70 カ国以上で放映されており、「ジャパニメーション」という名称でも呼ばれる。

日本のアニメは1990年代初め頃から海外進出をはじめ、フランスでは子供向けテレビ番組の90%が日本のアニメだった時期もあった。特に藤子・F・不二雄の「ドラえもん」は、ヨーロッパだけでなくアジアや中南米を中心に、サウジアラビアやロシアも含む世界中でテレビのアニメ放映や、単行本が翻訳され販売されるなど、人気が高い。ヨーロッパでは「ドラえもん」に次いで鳥山明の「ドラゴンボール」の人気が高く、スペインやフランスで人気を集めた。

アジアにおいては、まず、日本のアニメがテレビ放映され、人気を得ると原作本の海賊版が現れた後、正式な契約のもと原作本が出版されるパターンが通例化している。タイでは「ドラえもん」さくらももこの「ちびまる子ちゃん」がこのパターンでベストセラーとなった。中国においても臼井儀人の「クレヨンしんちゃん」、青山剛昌の「名探偵コナン」、「ドラゴンボール」、武内直子の「セーラーMoon」などが高い人気を誇っている。また韓国でも、日本のアニメという認識がないケースも多いが、広く知られている。

日本のマンガは、“*manga*”として世界で通用する言葉となり各地で幅広い読者層を獲得している。各国の書店でも、日本のマンガだけでコーナーを設け、原作版、翻訳版ともに置いている場合が多く、特に若者に人気が高い。日本で雑誌連載中のマンガも、随時翻訳版が出されるなど、継続的に高い人気を保持している。

#### (2)各種調査による対象作家の認知度

##### 調査方法

##### A. WEB 検索による調査

①中国 ②韓国 ③台湾 ④アメリカ ⑤フランス

##### B. ヒアリングによる調査

①中国 ②韓国 ③台湾

##### C. 一般市民アンケートによる調査

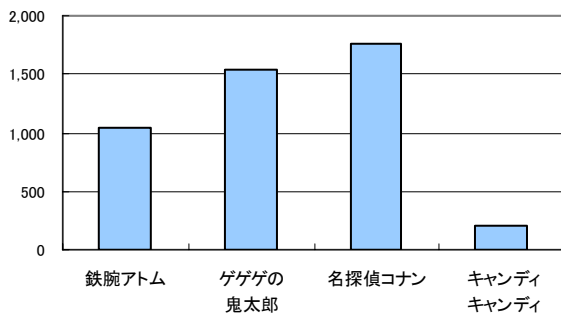
①英語版 ②韓国語版 ③中国語版（繁体字） ④中国語版（簡体字）

## A. WEB 検索による調査

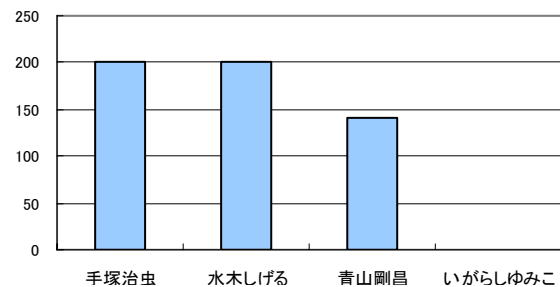
中国・韓国・台湾・アメリカ・フランスの各国で、一般的に広く用いられている検索サイトでキーワード検索を行い、ヒット件数によって各国における作品・作者・都市・アニメの知名度・人気度等の調査を行った。

### ①中国

#### i. 作品別サイト数



#### ii. 作者別サイト数



※yahoo.cnとbaido.comの合算。両エンジンとも100サイトまでしか表示できないので正確な数字ではない。

#### iii. 4都市・県認知（「都市+観光」での検索サイト数）

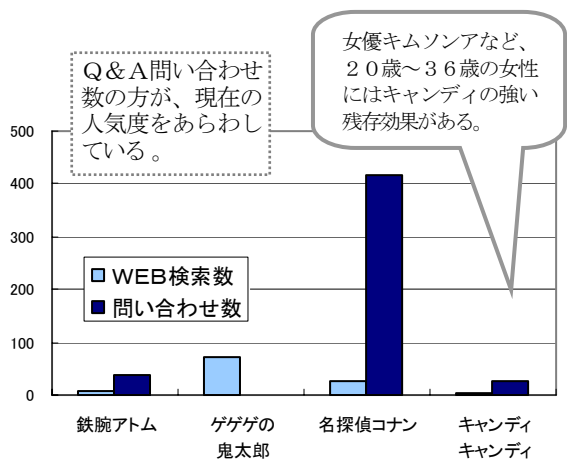
4都市（宝塚・境港・鳥取※・倉敷）とも yahoo.cn と baido.com の合算のサイト検索数が200であった。（※本来ならば青山剛昌ふるさと館のある“北栄町”でWEB検索を行うべきであるが、北栄町単独では知名度がなく検索にかからないため、広く“鳥取”を検索の対象とした）

#### iv. 各国におけるアニメの現状

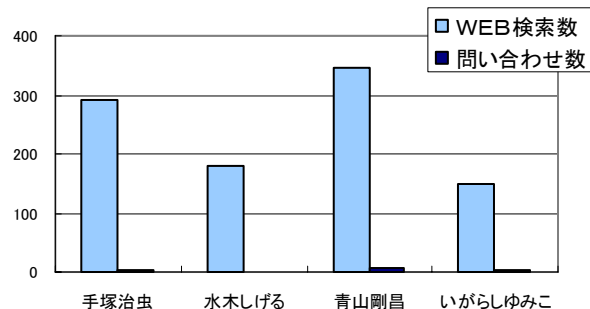
- 映像の流通→DVD流通（正規盤以外にも、良し悪しは別として、海賊版市場は一般市民に最新の日本アニメが浸透する基盤となってきた）  
→ネット上でのファイル交換（専門雑誌購読者などのコア層）
- マスメディアを通じた放映→現在、CCTVや地方テレビ台での日本アニメの放映は殆どなし。
- 06年は国家広播電視総局による日本アニメの新規輸入許可は1件のみ（ジェトロ北京より）
- 中国政府は、国産アニメ産業の保護を強化しており、ゴールデンタイムの外国アニメの放映禁止を通知。
- キャラクターグッズ販売→ガンダムなどの日本語パッケージの玩具は、真贋は別として、北京の市場で氾濫している。日系玩具メーカーの進出状況など、どういう経路で流通しているかは不明。

## ②韓国

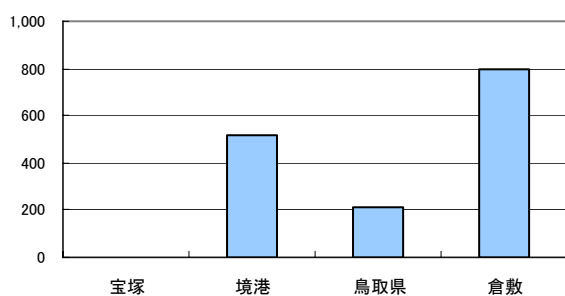
### i. 作品別サイト数



### ii. 作者別サイト数



### iii. 4都市・県認知（「都市+観光」での検索サイト数）

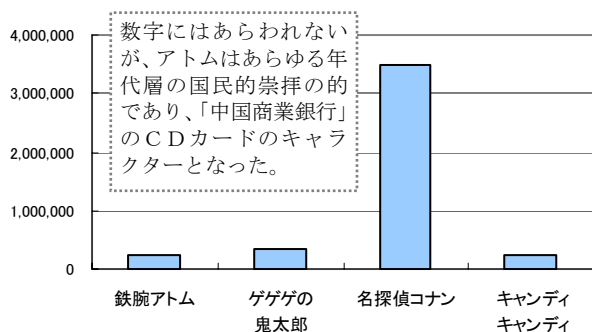


### iv. 各国におけるアニメの現状

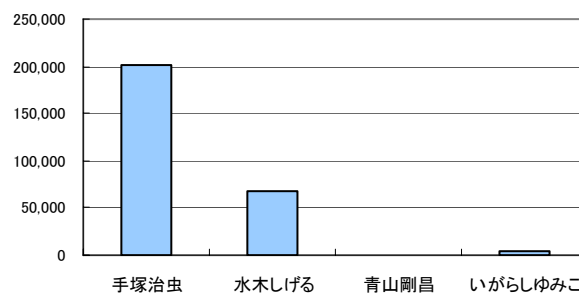
- アニメ・マンガは一般的に若者やこどものホビーと見なされている。（ちょうど日本の2, 30年前のように）。青年や男の子にはドラゴンボール、るろうに剣心、スラムダンク、名探偵コナンの人気が高い。若い女性や少女に限ってはキャンディ・キャンディが人気のようだ。
- アニメ・マンガのファンは多そうだが、彼らが日本に行ってコミックマーケットでお金を使っているかどうかは分からない。日本の旅行先として、たいいていの方は福岡、大阪、京都、東京をあげる。
- 圧倒的に多いのが温泉ツアー、海浜や京都などの史跡を訪れるツアー」も若干ある。もちろん、ディズニーランド、Water parkなどテーマパークを目玉にするツアーもある。アニメ・マンガをテーマにしたパッケージツアーも1件だけ検索した。

### ③台湾

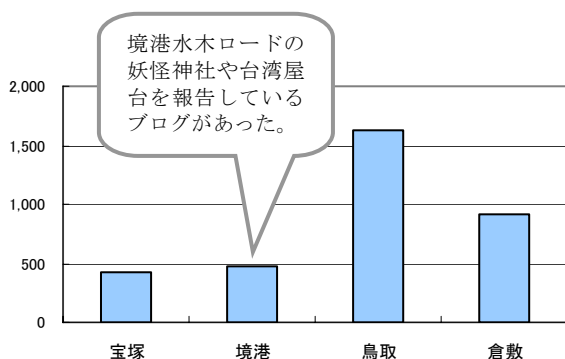
#### i. 作品別サイト数



#### ii. 作者別サイト数



#### iii. 4都市・県認知（「都市+観光」での検索サイト数）

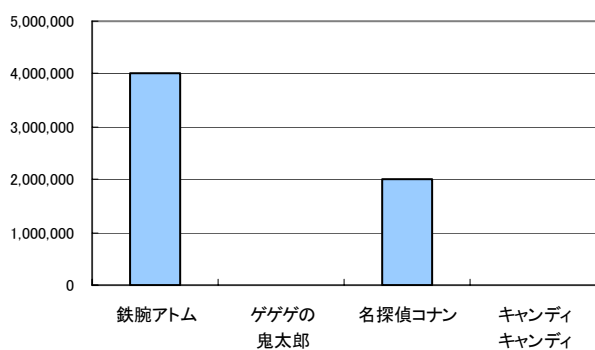


#### iv. 各国におけるアニメの現状

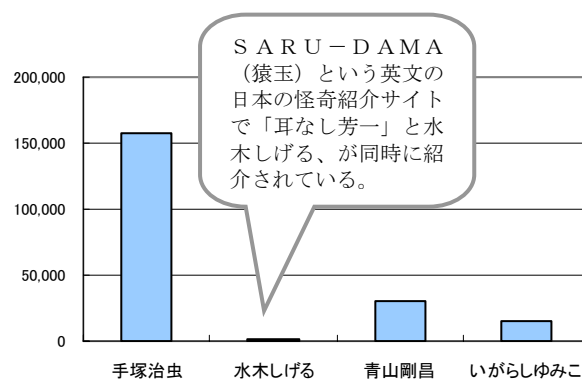
- キャンディ・キャンディはアメリカのマンガだと認識している人が多い。キャンディ・キャンディの周辺グッズの販売は禁止されている。衣装やDVDをはじめマンガ自体が絶版のため入手が困難である。
- ゲゲゲの鬼太郎のテレビ放映は70年代だが、明確ではない。マンガは1993年8月に絶版となっている。
- 鉄腕アトムは70年代前半にテレビ放映され、2004年4月に再放送された。
- 名探偵コナンは日本YTVテレビ局などによって放映され日本のアニメと認識している。マンガの単行本はすでに第32集まで発刊され、時計や携帯電話、映画版CDなど周辺グッズが販売されている。

#### ④アメリカ

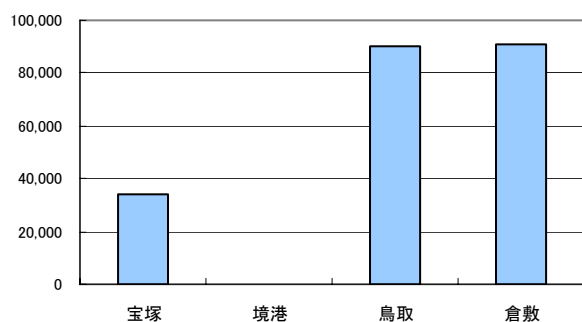
##### i. 作品別サイト数



##### ii. 作者別サイト数



##### iii. 4都市・県認知（「都市+観光」での検索サイト数）

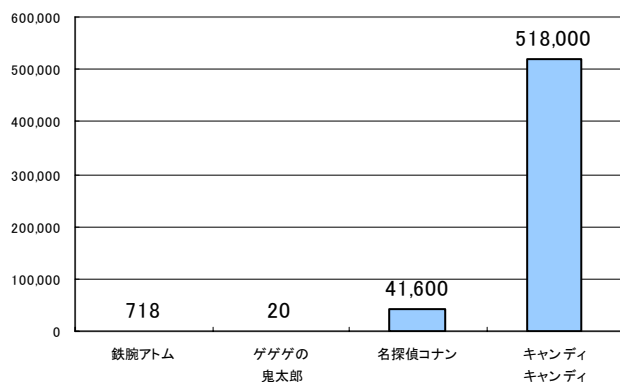


##### iv. 各国におけるアニメの現状

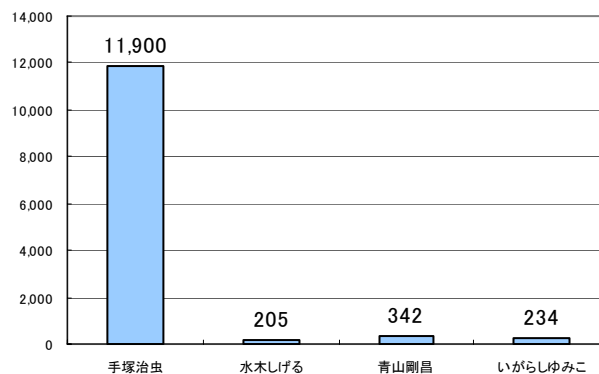
- 日本のアニメ人気は高まりつつある。英語に翻訳され、DVD、VHSやペーパーバックになって流通しているアニメ／マンガは多い。日本で放送されてから、2、3年はかかる公式のアメリカ版を待ちきれなくて、日本製のテープを買い、F a n s u bといわれる英語版を自分で作り、仲間に無料で配っているファンもかなりいるようだ。
- B&N、ボーダース、などの大書店チェーンでは英語版のマンガが買えるし、たいていの大学には、マンガを借りたり、交換しあったりするマンガクラブがある。

## ⑤ フランス

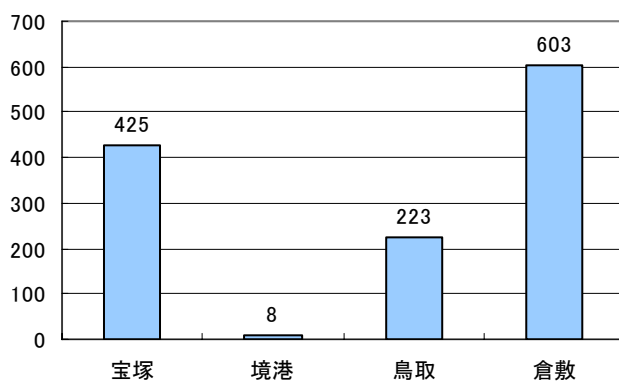
### i. 作品別サイト数



### ii. 作者別サイト数



### iii. 4都市・県認知（「都市+観光」での検索サイト数）



### iv. 各国におけるアニメの現状

- キャラクター（というより、テーマミュージック）の残存効果という点では、キャンディ・キャンディが突出しており、作家の知名度という点では、手塚治虫が世界的である。また、現時点でのアニメオタクへの人気度では、コナンである。
- 本レポート中にもある、30代カップルが共通の子供時代のノスタルジーに浸れるという点では、キャンディ・キャンディの倉敷（著作権の問題は別にして）、アトム他の宝塚はある。また、本レポートの「ゲゲゲの鬼太郎」とハーンの怪談を結ぶ、日本文化の怪奇的系図を訪ねるという点では、境港＝松江もある。
- 作者別サイト数では手塚治虫が圧倒的に多いが、作品別サイトでは、代表作の「鉄腕アトム」よりも、「ジャングル大帝」、「火の鳥」の方がよく紹介されている。

### 【WEB 検索による調査結果】

各国語での WEB サイト上で検索されるキーワードから、対象作家・主な作品・対象地域の認知度や人気などを把握した。

#### ○作品としては、「コナン」が人気

- ・特に韓国、台湾（繁体字）、中国（簡体字）のサイトにおいて、「名探偵コナン」の検索数が、他と比べて多い。
- ・英語サイトでは「鉄腕アトム」、フランスでは「キャンディ・キャンディ」が多い。

#### ○作家としての知名度は手塚治虫が抜群

- ・各国において、「手塚治虫」の検索数が多く、知名度が浸透していることが窺われる。
- ・また、「青山剛昌」は韓国で、「水木しげる」は中国（簡体字）で多く見られた。

#### ○観光地としては倉敷市の知名度が高い

- ・都市名と観光で検索すると、倉敷市のサイト数が他に比べて多く、観光都市としての知名度が高いことが窺われる。

## B. ヒアリングによる調査

この調査は、中国・韓国・台湾の各国で手法・内容を変えて行った。中国・韓国においては各国のJNTOからの報告を基とし、中国は中青旅国際会議展覽公司・張琦經理に対しヒアリングを、韓国はアニメの専門家や日本アニメの専門媒体等の実質調査を行った。台湾においては、JNTOがないため、台湾在住者に対しアニメツアーに関するアンケートを行った。

### ①中国（JNTO北京事務所からの報告）

#### i. アニメ関連訪日ツアーの状況

中青旅国際会議展覽公司・張琦經理からのヒアリングより、アニメ関連訪日ツアーの状況について以下に示す。

##### 1. 中青旅「日本動漫の旅」

2006年7月29日発 7日間 7980元

夏休み期間の一般募集ツアー 40名参加実施済み

◎旅行費用 7980元(邦貨約12万円、北京市民の年収に等しい)にも係わらず、40名が参加した。大阪の日程の中には「手塚治虫記念館」および「秋葉原」が含まれている他は、大阪⇒京都⇒名古屋⇒箱根⇒東京の有名観光地をまわる旅である。

##### 2. 中国聯通「日本動漫の旅」

2006年10月5日-11日 7日間

中国聯通（携帯電話会社）による着メロ制作関係者の招待ツアー

26名参加実施済み

##### 3. 北京電影学院动画学院 日本招請視察事業（VJC招請事業）

2006年10月4日-9日 東京～栃木6日間 教員、学生等20名参加

\* 栃木県・文星芸術大学は、北京電影学院动画学院と姉妹校関係。

\* 北京電影学院动画学院、栃木県・文星芸術大学、「動漫販」雑誌社の3者で、最近「中日動漫研究中心」を設立した。

\* 文星芸術大学は宇都宮市にあるユニークな芸術専門大学。機能芸術領域には、デザイン専攻などと並んで、マンガ専攻がある。

#### ii. 中国でのアニメコンテンツ流通実態

日本のアニメコンテンツがどういった機会で市民に認知されるかについては、中国では



以下の媒体に大別されると考えられる。

#### ○映像の流通

- DVD流通（正規盤以外にも、良し悪しは別として、海賊版市場は一般市民に最新の日本アニメが浸透する基盤となってきた）
- ネット上でのファイル交換（専門雑誌購読者などのコア層）

#### ○マスメディアを通じた放映

- 現在、CCTVや地方テレビ台での日本アニメの放映は殆どなし。
  - ・06年は国家広播電視総局による日本アニメの新規輸入許可は1件のみ（ジェトロ北京より）
  - ・中国政府は、国産アニメ産業の保護を強化しており、ゴールデンタイムの外国アニメの放映禁止を通知。

#### ○キャラクターグッズ販売

- ガンダムなどの日本語パッケージの玩具は、真贋は別として、北京の市場で氾濫している。日系玩具メーカーの進出状況など、どういう経路で流通しているかは不明。

### iii. まとめ

中国では団体旅行以外の訪日旅行が始まってまだ日が浅く、アニメをテーマにした訪日ツアーはあるが、東京など有名観光地+秋葉原というものが主体といえる。それぞれの作品の認知度は高いので、中国地方にアニメに関連して観光客誘致を行うためには、中国地方にある有名観光地との連携・関連づけが必要となるであろう。特に「手塚治虫記念館」については、すでにある程度の知名度があるため、“宝塚市から中国地方各都市へ”の動線作りも有効であると考えられる。

②韓国（JNTOソウル事務所よりの報告）

i. 韓国のアニメ関係団体、専門家について

・アニメ専門家(現役有名漫画作家など)

NO.	部門	役職	氏名(日本語)
1	(社)韓国漫画家協会	会長	李ヒョンセ
2	(社)ウリ漫画連帯	会長	張ジンヨン
3	世宗大学校	教授	ハン・チャンワン
4	富川漫画情報センター	理事長 (元漫画家協会会長、世宗大学校教授)	李ドゥホ
5	韓国芸術総合学校	教授(ハンギョレ新聞漫画家) 兼アニメ監督	朴ゼドン
6	第7回世界漫画家大会	組織委員長(漫画作家)	金ドンファ
7	ウリ漫画連帯	前会長、代表理事	李ヒゼ

注) 上記の方々は韓国において現役の有名漫画作家であり、アニメ関係への影響力も強い。

・マスコミ関連専門家

NO.	部門	役職	氏名(日本語)
1	朝鮮日報	エンターテインメント出版担当記者	魚秀雄
2	中央日報	エンターテインメント チーム次長	鄭ヒョンモ
3	ハンギョレ新聞	記者	ク・ボンジュン

注) 日刊紙の専門記者でいずれもアニメや漫画関連スペシャルリストである。

## ii. 韓国における日本アニメ専門媒体

媒体の種類	媒体名(日本語)	URL/TEL	コメント
雑誌	NEW TYPE	<a href="http://ani.daiwon.co.kr/">http://ani.daiwon.co.kr/</a>	漫画・アニメなど日本の作品を大量に輸入している韓国の大手出版社であるデウォンが出版するアニメ専門雑誌。デウォンは「ゲド戦記」も韓国で配給している。
	ニュータイプ	02-2071-2000	
	ANIMATOON	<a href="http://www.animatoon.co.kr/">http://www.animatoon.co.kr/</a>	韓国内でアニメ関連専門雑誌。発行人は「ネルソン・シン」という韓国系アメリカ人。
	アニメイトゥーン	02-443-9901	
インターネット	JUMPS	<a href="http://www.jumps.co.kr">www.jumps.co.kr</a>	韓国の大手の女性雑誌出版社ソウル文化社(WOMAN SENSE 等)の子会社であるアイエムドットコムが運営するアニメ専門サイト。
	ジャンプス	02-749-4075	
テレビ	TOONIVERSE	<a href="http://www.ontooniverse.com">www.ontooniverse.com</a>	韓国のケーブルテレビでケーブルチャンネルの中で視聴率NO. 1である。日本のアニメが多く放映されている。
	トゥニバス	080-080-0780	

・上記のように韓国にはアニメに関する専門家が名を連ねるなど、アニメ自体に対する関心が高い。また、アニメに関するメディアも充実しており、日本のアニメを目にする機会も多い。

## iii. まとめ

韓国ではアニメに関する情報媒体が充実しており、これらを利用して日本のマンガやアニメに関連したツアーなどを企画することが有効であると考えられる。特に名探偵コナンなどは、普遍的に知られているマンガ・アニメであり、コナン作品中に出てくる中国地方の名所などを「青山剛昌ふるさと館」と共に巡るツアーの造成も集客力を挙げられると考えられる。また、韓国人旅行客にとって大阪は人気のスポットであり、大阪と中国地方にある温泉地と絡めた旅行プランの造成も有効であろう。

### ③台湾（在住者へのアンケート）

広島大学在学の留学生を通じて、故国の友人30人に以下の旅行プラン・画像を見せて、インターネットでアンケートを行った。その内容および結果を以下に示す。

#### i 提示した旅行プラン

##### 台北から西日本の世界遺産、温泉、グルメそして4つのアニメ美術館を訪ねる旅！

###### 第1日

台北⇒広島空港⇒広島プリンスホテルにて宿泊

###### 第2日

広島⇒足立美術館⇒境港鬼太郎大通りで遊ぶ⇒山陰の名湯“三朝温泉” 依山樓宿泊

\*水木しげるロード：(写真・説明)

\*“三朝温泉” 依山樓 (写真・説明)

###### 第3日

三朝温泉⇒コナンの里⇒鳥取砂丘⇒日本三大奇景“天橋立”⇒京都・宿泊

\*コナンの里 (写真・説明)

\*日本三大奇景“天橋立” (写真・説明)

###### 第4日

京都⇒宝塚歌劇・手塚治虫美術館⇒姫路城⇒倉敷・宿泊

\*宝塚歌劇 (写真・説明)

\*手塚治虫美術館 (写真・説明)

\*姫路城 (写真・説明)

###### 第5日

倉敷美観地区散策⇒美観地区にある「いがらしゆみこ美術館」見学⇒広島空港⇒台北

\*いがらしゆみこ美術館 (写真・説明)

#### ii アンケート調査結果概要

##### 1. 今回のプランで特に興味がある観光個所（3つまで）

三朝温泉	20
姫路城	16
足立美術館	11
宝塚	10
天橋立	7
コナンの里	6
水木しげるロード	5
倉敷	4
鳥取砂丘	2

2. 今回のプランで特に興味がない観光個所（3つまで）

足立美術館	1 3
いがらしゆみこ美術館	1 1
コナンの里	8
水木しげるロード	7
鳥取砂丘	7
宝塚	6
倉敷	4
姫路城	3
手塚治虫記念館	2

3. 今回のプランには入っていないが中国地方で特に行きたい個所

特になし、よくわからない	1 5
宮島	7
原爆ドーム（平和記念公園）	6
出雲大社	4
錦帯橋	3
その他	5

\*その他…秋芳洞、西条酒蔵、神戸、京都二条城、ユニバーサルスタジオ（各1）

4. このプラン妥当な値段（台湾元での回答 1台湾元＝約3.6円）

1.5万～2万円（¥54,000～¥72,000）	1
2万～2.5万円（¥72,000～¥90,000）	1 1
2.5万～3万円（¥90,000～¥108,000）	1 0
3.5万～4万円（¥108,000～¥144,000）	2
4万元以上（¥144,000～）	1
見当がつかない	5

5. このプランにおけるミュージアム等の中で最も興味のあるもの

コナンの里	1 0
手塚治虫記念館	7
水木しげるロード	4
いがらしゆみこ美術館	3
全部興味あり	2
特になし	4

## 6.日本への旅行の際、個人旅行と旅行会社のツアーとどちらをよく利用するか

### ■個人旅行…16

<理由>

- ・好きなスポットには長く居られるし、はずれな場所はさっさと通れる。
- ・忙しいからツアーの時間に合わせるのが大変だから。
- ・プランを立てるときの話し合いが楽しい。
- ・他人がいないから恥ずかしい写真でも遠慮なく撮れる。

### ■ツアー利用…11

<理由>

- ・交通も食事も便利。
- ・ガイドさんがいるから、スポットについての知識を教えてもらえる。
- ・トラブルにあっても安心できる。
- ・言葉が通じないから。
- ・プランを立てるのが面倒だから。
- ・子供連れだから、ツアーの方がいい。

### ■どちらとも言えない…2

<理由>

- ・交通が不便なところなら、ツアーを利用する。
- ・どちらにするかは一緒に旅行する相手に任せるから。

## 7.日本で一番行きたいところ（3つまで）

北海道	11
京都	10
東京	8
東北（青森）	7
九州	6
沖縄	5
黒部立山	3
富士山	2
神戸	1
鹿児島	1

\*その他…温泉のあるところならどこでも、桜や紅葉の見られるところ、日本の祭りを体験したい、など。

## 8.日本への旅行に際して妥当な日数

3泊4日	1
4泊5日	15
6泊7日	11
7日以上	3

## 9.日本への個人旅行の際、不便と感ずる点

交通	12
言葉	10
宿探し(安い)	8
荷物の預け場所	5
プランの作成*	4
食事場所	2
経験がないからわからない	4

\*ガイドブックでは有名なところが紹介されているが、その周辺にはどんなスポットがあるのかよく分からない。効率よく回れない。

## 10.その他、自由意見

- 広島から京都まで行くのは魅力だが、時間の大半が移動に費やしてしまうのでは？移動時間が心配です。
- このプランはもしかして「家族旅行」のプランですか。よく分からないが、アニメのミュージアムが多いような気がする。若者には人気がありますか？少なくとも私は興味ありませんね。また、もし「家族旅行」を設定したのであれば、年寄りにはきつくないですか。
- このプランで紹介されたアニメのミュージアムは、それぞれの年齢層が違うんです。(例えばキャンディ・キャンディは30歳以上の女性、コナンは若者。手塚治虫は30歳以上の男性。)そのため、このプランのターゲットは今一つ分からない。
- 日本旅行に対しての台湾人の好みといえば、温泉、景色(桜、紅葉)、グルメです。このプランでは世界遺産や有名な城なども入れているので興味はあるが、ミュージアムはやや多いと思う。できればミュージアムを2~3箇所にして、景色やグルメに重点を置いてもらいたいです。
- ホテルのクラスや食事の場所やスタイルなど書いてないから、いいプランかどうか判断できない。でも、中国地方には行ったことないから(あんまり知られていないような気がする)、紹介されたスポットには全部興味あります。
- 広島には行ったことないが、二つの世界遺産もあるし、また海鮮料理が有名だと聞きました。でも、このプランだと広島に居る時間は少ないような気がする。せめて宮島に行きたいです。(可愛い鹿が見たい~)
- 買い物(お土産)の時間がないです。せっかく大阪や京都に行くなら、そこでショッピングしたいです。

### <回答者>

- ・性別

男性 12 人、女性 18 人 合計 30 人

- ・年齢

20～25 歳…5 人、26～30 歳…18 人、31～35 歳…4 人、36～40 歳…3 人

- ・訪日経験

なし…6 人、1～2 回…8 人、3～4 回…7 人、5 回以上…9 人

### iii まとめ

このアンケート回答者は 20 代後半が中心、訪日経験平均 3 回という日本旅行のリピーターである。こうしたリピーターでも中国地方を訪れた人は少ないらしく、プランにないが関心のある著名観光地として宮島、広島、出雲大社が上がっている。またコース上で紹介した観光地で関心あり、と答えた中に、三朝温泉（20 票）、姫路城（16 票）、足立美術館（11 票）、宝塚（10 票）、天橋立（7 票）などが上位を占めている。

台湾への戦略としては、アニメミュージアムに特化した S I T ではなく、これらアニメ destinations の間にある観光地に留意したプランを組むべきではないか、と思われる。

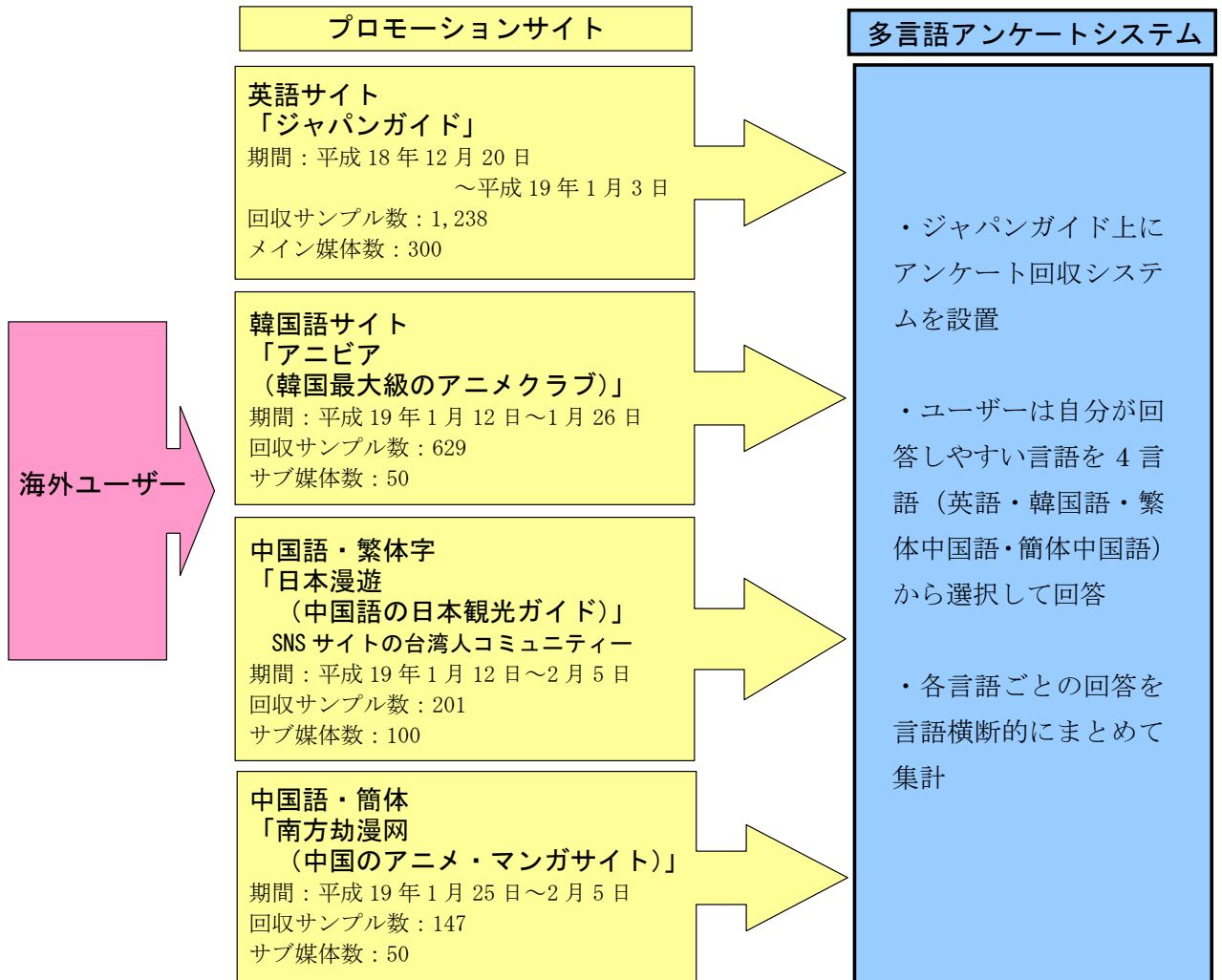


C. 一般市民アンケートによる調査

＜一般市民アンケート実施概要＞

「日本のマンガ、アニメーションに関するアンケート」として、日本のマンガ・アニメに対する関心度や各拠点への来訪意向などを、多言語アンケートシステムをWEB上に設置して調査。

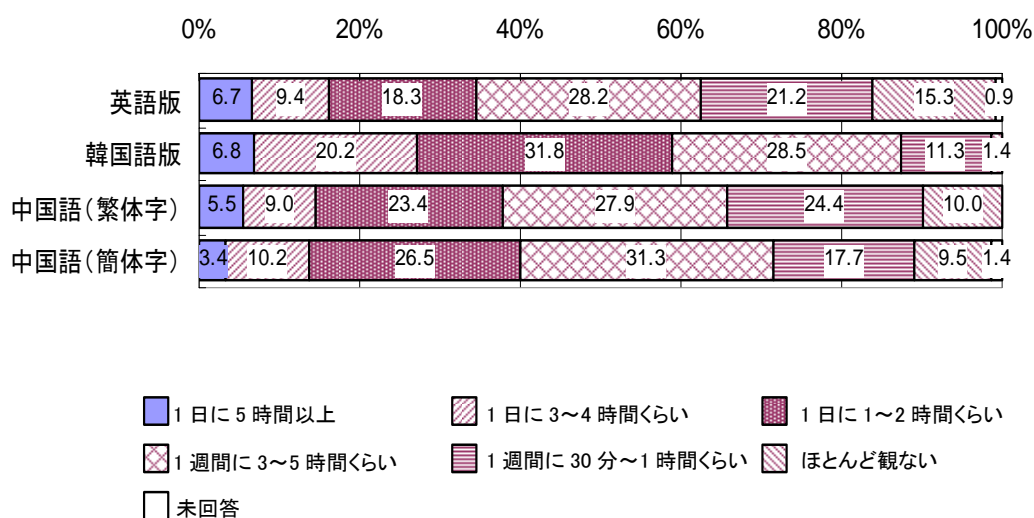
- ・対象・・・欧米、韓国、台湾、香港、中国
- ・サンプル数・・・2118
- ・アンケート実施時期：12月下旬
- ・アンケート回答者に抽選でインセンティブ（Amazon 商品券）



\*京都WGで実施しているWEBアンケートに、質問項目を追記する形で実施  
 （各施設の認知度、訪問経験、訪問意向、等）

i. 日本のアニメーションを観る頻度

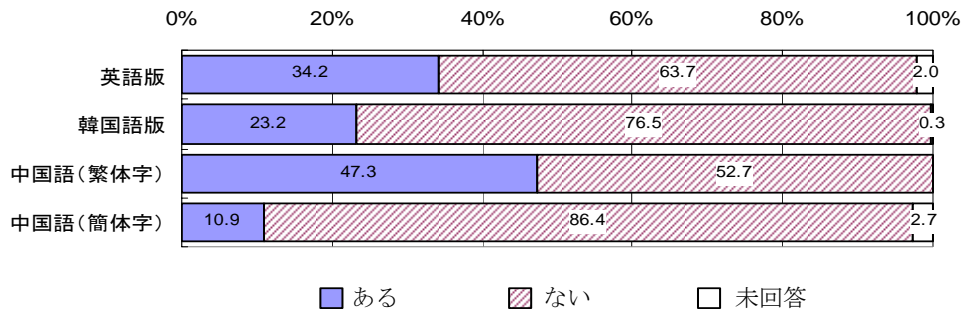
	1日に 5時間以上	1日に 3~4時間 くらい	1日に 1~2時間 くらい	1週間に 3~5時間 くらい	1週間に 30分~1時間 くらい	ほとんど 観ない	未回答	計
英語版 n=1238	83 6.7%	116 9.4%	227 18.3%	349 28.2%	262 21.2%	190 15.3%	11 0.9%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	43 6.8%	127 20.2%	200 31.8%	179 28.5%	71 11.3%	9 1.4%	0 0.0%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	11 5.5%	18 9.0%	47 23.4%	56 27.9%	49 24.4%	20 10.0%	0 0.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	5 3.4%	15 10.2%	39 26.5%	46 31.3%	26 17.7%	14 9.5%	2 1.4%	147 100.0%



○日本のアニメーションを見る頻度は、韓国語版で圧倒的に高く、ほぼ毎日見ているという結果となった。英語版、中国語版（繁体字）、中国語版（簡体字）においても、週に3時間以上見る人が過半数を超えた。

ii. 訪日の有無

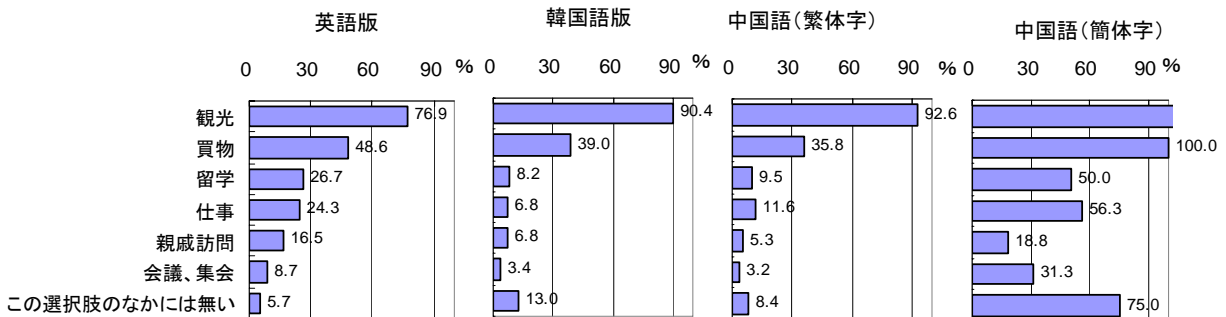
	ある	ない	未回答	計
英語版 n=1238	424 34.2%	789 63.7%	25 2.0%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	146 23.2%	481 76.5%	2 0.3%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	95 47.3%	106 52.7%	0 0.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	16 10.9%	127 86.4%	4 2.7%	147 100.0%



○中国語（繁体字）版における訪日率が最も高く、前項の日本のアニメーションを見る率に対して、韓国語版の訪日率は低いという結果となった。

iii. 訪日の目的（複数回答）

	観光	買物	留学	仕事	親戚訪問	会議、集会	この選択肢のなかには無い	計
英語版 n=424	326 76.9%	206 48.6%	113 26.7%	103 24.3%	70 16.5%	37 8.7%	24 5.7%	879
韓国語版 n=146	132 90.4%	57 39.0%	12 8.2%	10 6.8%	10 6.8%	5 3.4%	19 13.0%	245
中国語(繁体字) n=95	88 92.6%	34 35.8%	9 9.5%	11 11.6%	5 5.3%	3 3.2%	8 8.4%	158
中国語(簡体字) n=16	19 118.8%	16 100.0%	8 50.0%	9 56.3%	3 18.8%	5 31.3%	12 75.0%	72

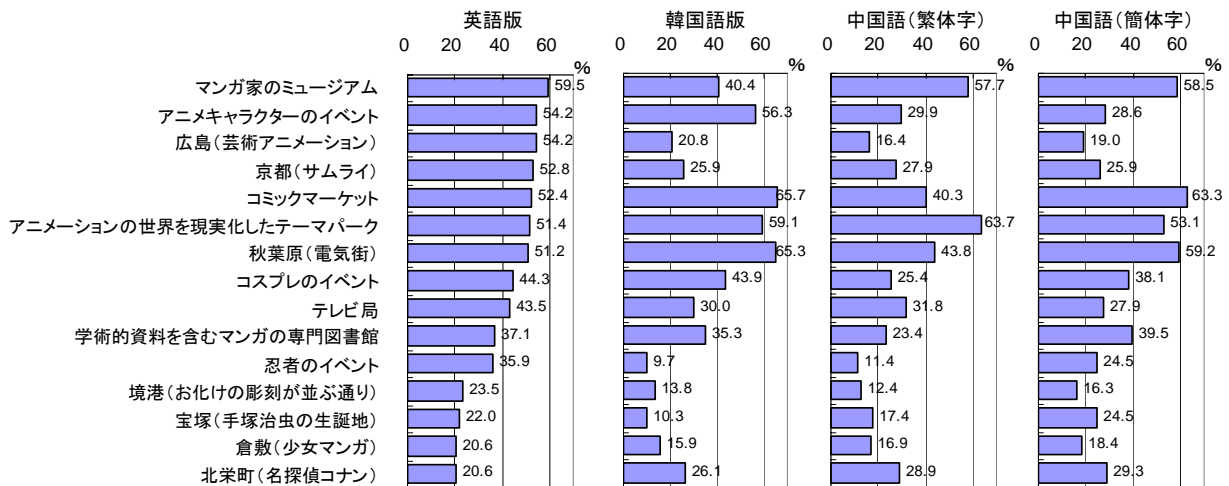


○訪日の目的のほとんどが観光・買物目的である。アニメに関する観光に関しては、以下の項目で触れる。

iv. 日本のマンガやアニメーションに関する行きたい場所 (複数回答)

	マンガ家のミュージアム	アニメキャラクターのイベント	広島(芸術アニメーション)	京都(サムライ)	コミックマーケット	アニメーションの世界を現実化したテーマパーク	秋葉原(電気街)	コスプレのイベント
英語版 n=1238	737 59.5%	671 54.2%	671 54.2%	654 52.8%	649 52.4%	636 51.4%	634 51.2%	549 44.3%
韓国語版 n=629	254 40.4%	354 56.3%	131 20.8%	163 25.9%	413 65.7%	372 59.1%	411 65.3%	276 43.9%
中国語(繁体字) n=201	116 57.7%	60 29.9%	33 16.4%	56 27.9%	81 40.3%	128 63.7%	88 43.8%	51 25.4%
中国語(簡体字) n=147	86 58.5%	42 28.6%	28 19.0%	38 25.9%	93 63.3%	78 53.1%	87 59.2%	56 38.1%

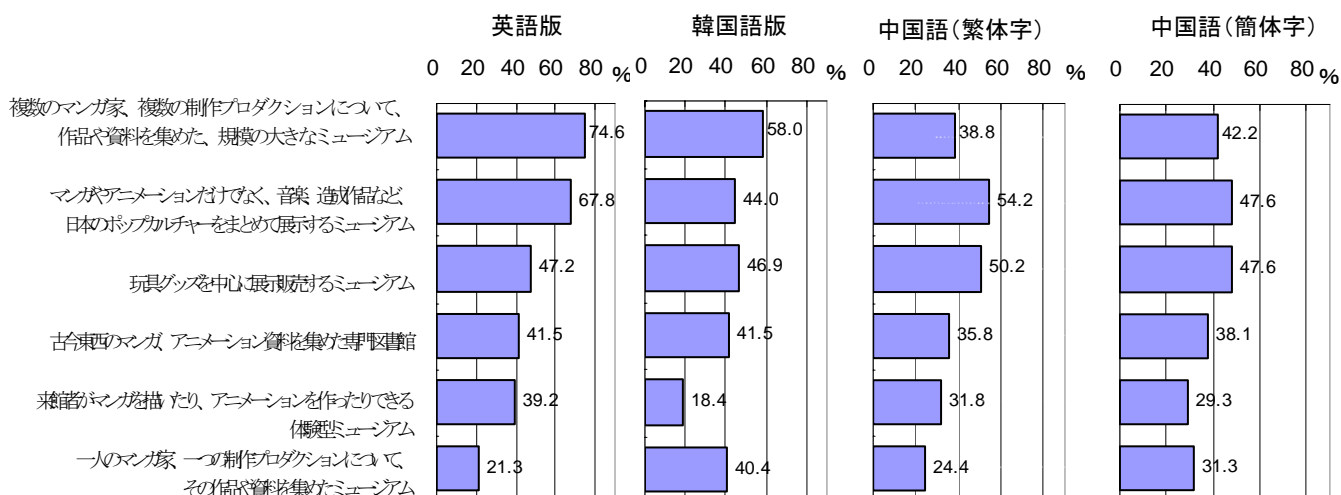
	テレビ局	学術的資料を含むマンガの専門図書館	忍者のイベント	境港(お化けの彫刻が並ぶ通り)	宝塚(手塚治虫の生誕地)	倉敷(少女マンガ)	北栄町(名探偵コナン)	計
英語版 n=1238	538 43.5%	459 37.1%	444 35.9%	291 23.5%	272 22.0%	255 20.6%	255 20.6%	7,715
韓国語版 n=629	189 30.0%	222 35.3%	61 9.7%	87 13.8%	65 10.3%	100 15.9%	164 26.1%	3,262
中国語(繁体字) n=201	64 31.8%	47 23.4%	23 11.4%	25 12.4%	35 17.4%	34 16.9%	58 28.9%	899
中国語(簡体字) n=147	41 27.9%	58 39.5%	36 24.5%	24 16.3%	36 24.5%	27 18.4%	43 29.3%	773



○各言語で関心が高かったのは、マンガ家のミュージアム、コミックマーケット、秋葉原、テーマパーク等であり、4都市の中では北栄町(名探偵コナン)が比較的関心を集めた。

v. マンガやアニメーションのミュージアムで関心を覚えるもの（複数回答）

	複数のマンガ家、複数の制作プロダクションについて、作品や資料を集めた、規模の大きなミュージアム	マンガやアニメーションだけでなく、音楽、造形作品など、日本のポップカルチャーをまとめて展示するミュージアム	玩具、グッズを中心に展示販売するミュージアム	古今東西のマンガ、アニメーション資料を集めた専門図書館	来館者がマンガを描いたり、アニメーションを作ったりできる体験型ミュージアム	一人のマンガ家、一つの制作プロダクションについて、その作品や資料を集めたミュージアム	計
英語版 n=1238	924 74.6%	839 67.8%	584 47.2%	514 41.5%	485 39.2%	264 21.3%	3,610
韓国語版 n=629	365 58.0%	277 44.0%	295 46.9%	261 41.5%	116 18.4%	254 40.4%	1,568
中国語(繁体字) n=201	78 38.8%	109 54.2%	101 50.2%	72 35.8%	64 31.8%	49 24.4%	473
中国語(簡体字) n=147	62 42.2%	70 47.6%	70 47.6%	56 38.1%	43 29.3%	46 31.3%	347

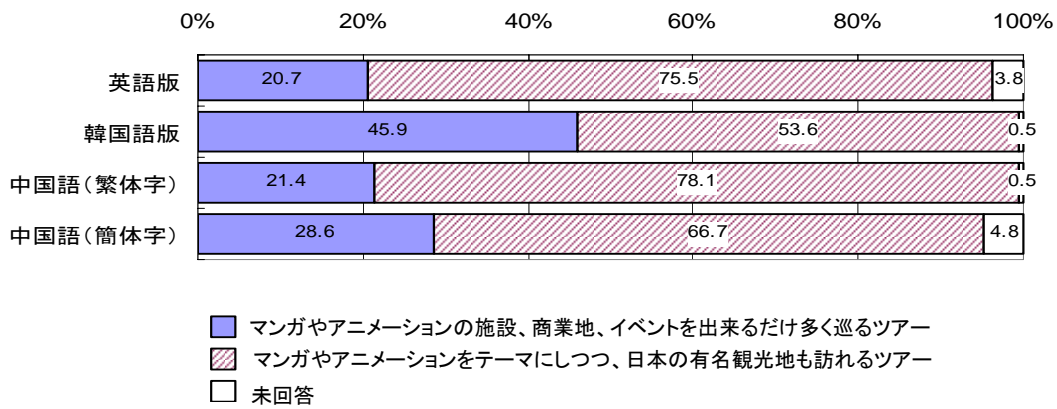


○ミュージアムに限定した場合、単一のマンガ家・制作プロダクションだけを扱うミュージアムよりも、複数、或いは一所に様々なジャンル（マンガに限らず）の日本のポップカルチャーを集めたミュージアムが望まれている。

vi. 日本のマンガやアニメーションをテーマとしたツアーで参加したいもの

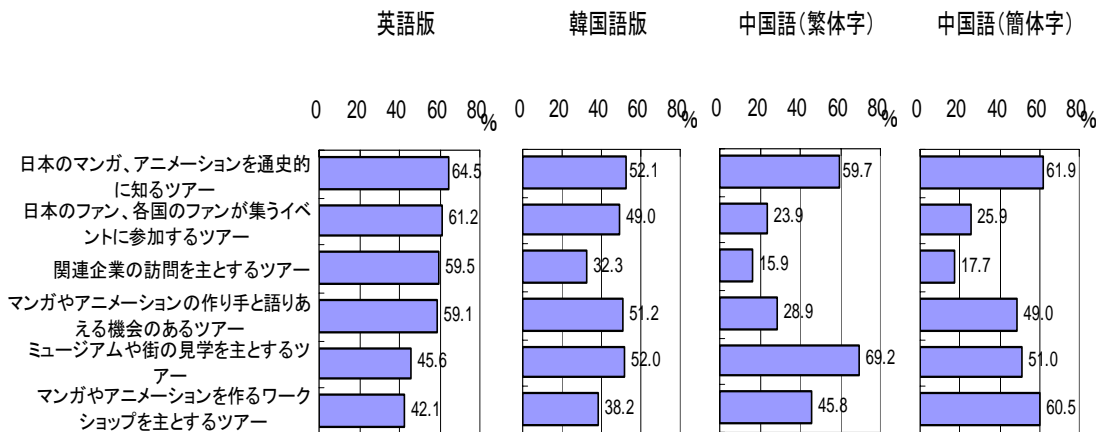
-構成-

	マンガやアニメーションの施設、商業地、イベントを出来るだけ多く巡るツアー	マンガやアニメーションをテーマにしつつ、日本の有名観光地も訪れるツアー	未回答	計
英語版 n=1238	256 20.7%	935 75.5%	47 3.8%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	289 45.9%	337 53.6%	3 0.5%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	43 21.4%	157 78.1%	1 0.5%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	42 28.6%	98 66.7%	7 4.8%	147 100.0%



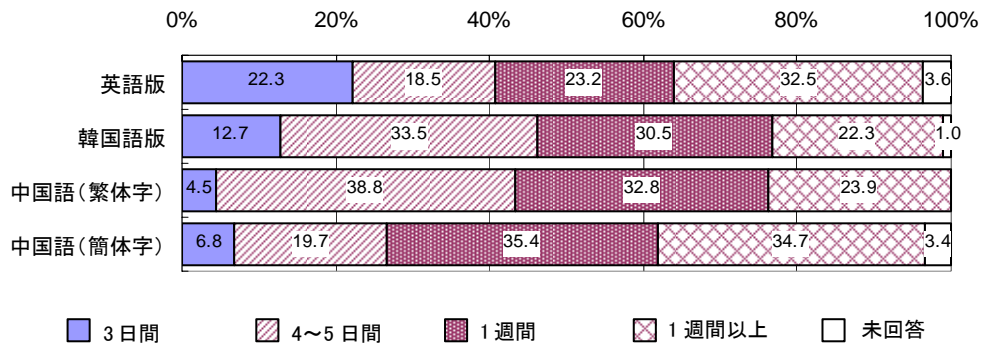
-体験-

	日本のマンガ、アニメーションを通史的に知るツアー	日本のファン、各国のファンが集うイベントに参加するツアー	関連企業の訪問を主とするツアー	マンガやアニメーションの作り手と語りあえる機会のあるツアー	ミュージアムや街の見学を主とするツアー	マンガやアニメーションを作るワークショップを主とするツアー	計
英語版 n=1238	798 64.5%	758 61.2%	737 59.5%	732 59.1%	565 45.6%	521 42.1%	4,111
韓国語版 n=629	328 52.1%	308 49.0%	203 32.3%	322 51.2%	327 52.0%	240 38.2%	1,728
中国語(繁体字) n=201	120 59.7%	48 23.9%	32 15.9%	58 28.9%	139 69.2%	92 45.8%	489
中国語(簡体字) n=147	91 61.9%	38 25.9%	26 17.7%	72 49.0%	75 51.0%	89 60.5%	391



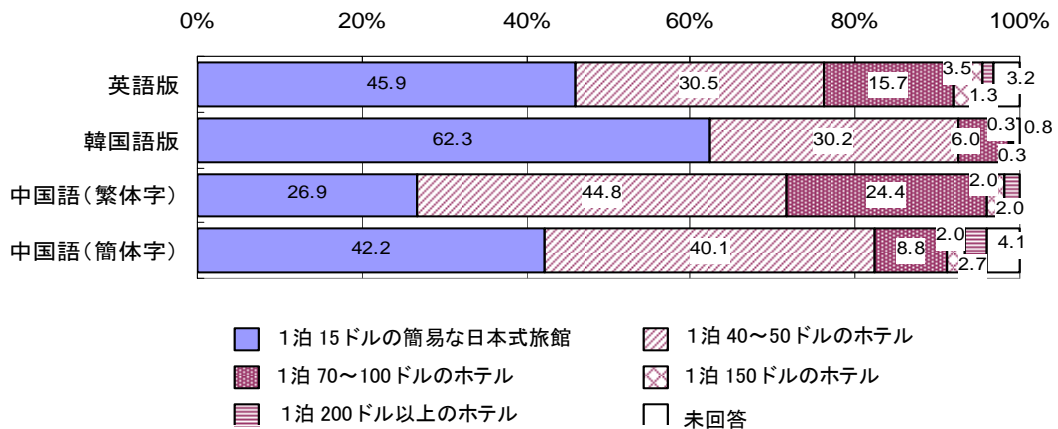
-日数-

	3日間	4~5日間	1週間	1週間以上	未回答	計
英語版 n=1238	276 22.3%	229 18.5%	287 23.2%	402 32.5%	44 3.6%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	80 12.7%	211 33.5%	192 30.5%	140 22.3%	6 1.0%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	9 4.5%	78 38.8%	66 32.8%	48 23.9%	0 0.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	10 6.8%	29 19.7%	52 35.4%	51 34.7%	5 3.4%	147 100.0%



-宿泊-

	1泊 15ドルの簡易な日本式旅館	1泊 40~50ドルのホテル	1泊 70~100ドルのホテル	1泊 150ドルのホテル	1泊 200ドル以上のホテル	未回答	計
英語版 n=1238	568 45.9%	377 30.5%	194 15.7%	43 3.5%	16 1.3%	40 3.2%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	392 62.3%	190 30.2%	38 6.0%	2 0.3%	2 0.3%	5 0.8%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	54 26.9%	90 44.8%	49 24.4%	4 2.0%	4 2.0%	0 0.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	62 42.2%	59 40.1%	13 8.8%	3 2.0%	4 2.7%	6 4.1%	147 100.0%



○各国ともマンガやアニメーションだけに特化したツアーではなく、他の観光名所も同時に訪れるツアーが望まれている。

○マンガやアニメーションに関するツアーでは、広く日本のマンガやアニメーションを知るツアーが人気を集めた。言語別に見ると、英語版でファン同士で交流を持つことのできるツアー、韓国語版で作り手と語り合えるツアー、中国語版（簡体字）でワークショップのあるツアーが比較的多くの関心を集めた。

○ツアー日数は、地理的な問題もあり、英語版・中国語版（簡体字）で1週間以上を希望する回答が多く、韓国語版・中国語版（繁体字）では4～5日間、1週間という回答が多い。

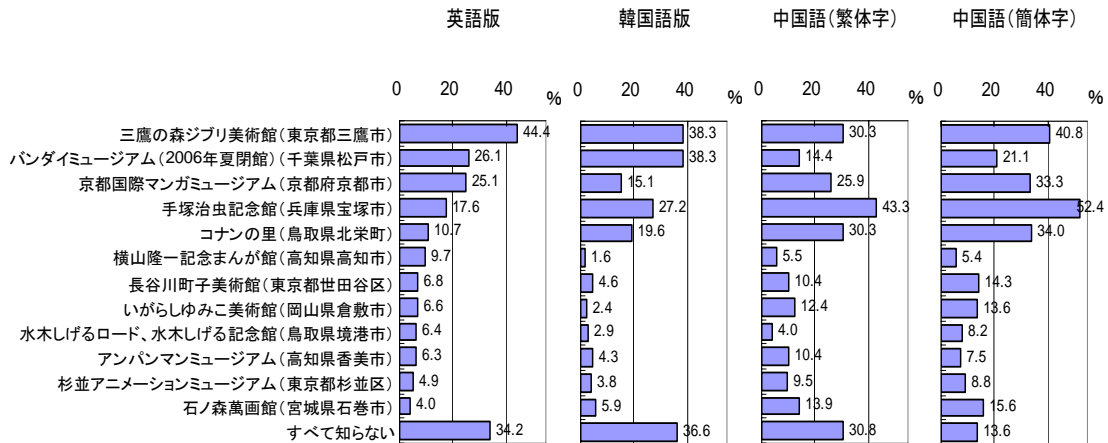
○日本への長期滞在のキーとなっているのが宿泊代であり、一泊15ドル程度という回答が最も多く、次いで40～50ドル程度を希望する回答が大多数を占めた。

vii. 知っているマンガやアニメーションのミュージアム（複数回答）

	三鷹の森ジブリ美術館(東京都三鷹市)	バンダイミュージアム(2006年夏閉館)(千葉県松戸市)	京都国際マンガミュージアム(京都市)	手塚治虫記念館(兵庫県宝塚市)	コナンの里(鳥取県北栄町)	横山隆一記念まんが館(高知県高知市)	長谷川町子美術館(東京都世田谷区)
英語版 N=1238	550 44.4%	323 26.1%	311 25.1%	218 17.6%	132 10.7%	120 9.7%	84 6.8%
韓国語版 N=629	241 38.3%	241 38.3%	95 15.1%	171 27.2%	123 19.6%	10 1.6%	29 4.6%
中国語(繁体字) N=201	61 30.3%	29 14.4%	52 25.9%	87 43.3%	61 30.3%	11 5.5%	21 10.4%
中国語(簡体字) n=147	60 40.8%	31 21.1%	49 33.3%	77 52.4%	50 34.0%	8 5.4%	21 14.3%

	いがらしゆみこ美術館(岡山倉敷市)	水木しげるロード、水木しげる記念館(鳥取県境港市)	アンパンマンミュージアム(高知県香美市)	杉並アニメーションミュージアム(東京都杉並区)	石ノ森萬画館(宮城県石巻市)	すべて知らない	計
英語版 n=1238	82 6.6%	79 6.4%	78 6.3%	61 4.9%	50 4.0%	423 34.2%	2,511
韓国語版 n=629	15 2.4%	18 2.9%	27 4.3%	24 3.8%	37 5.9%	230 36.6%	1,261
中国語(繁体字) n=201	25 12.4%	8 4.0%	21 10.4%	19 9.5%	28 13.9%	62 30.8%	485
中国語(簡体字) n=147	20 13.6%	12 8.2%	11 7.5%	13 8.8%	23 15.6%	20 13.6%	395



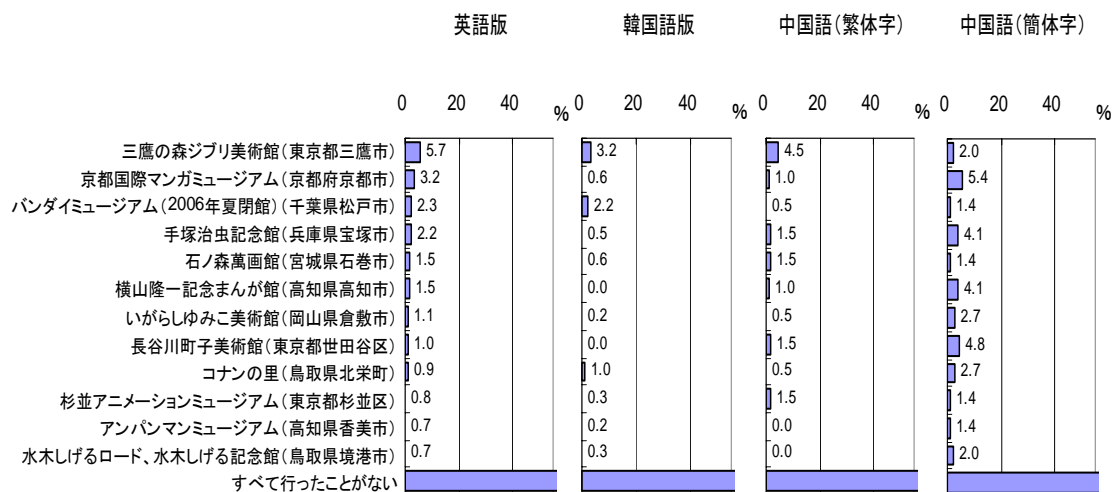


○英語版・韓国語版でジブリ美術館・バンダイミュージアムの知名度が高く、次いで京都国際マンガミュージアム、手塚治虫記念館と続く。中国語版(繁体字・簡体字とも)では、手塚治虫記念館の知名度が群を抜いて高く、次いでジブリ美術館・コナンの里という結果となった。

viii. 訪問したことのあるマンガやアニメーションのミュージアム (複数回答)

	三鷹の森ジブリ美術館(東京都三鷹市)	京都国際マンガミュージアム(京都市京都市)	バンダイミュージアム(2006年夏閉館)(千葉県松戸市)	手塚治虫記念館(兵庫県宝塚市)	石ノ森萬画館(宮城県石巻市)	横山隆一記念まんが館(高知県高知市)	いがらしゆみこ美術館(岡山県倉敷市)
英語版 n=1238	71 5.7%	39 3.2%	29 2.3%	27 2.2%	18 1.5%	18 1.5%	13 1.1%
韓国語版 n=629	20 3.2%	4 0.6%	14 2.2%	3 0.5%	4 0.6%	0 0.0%	1 0.2%
中国語(繁体字) n=201	9 4.5%	2 1.0%	1 0.5%	3 1.5%	3 1.5%	2 1.0%	1 0.5%
中国語(簡体字) n=147	3 2.0%	8 5.4%	2 1.4%	6 4.1%	2 1.4%	6 4.1%	4 2.7%

	長谷川町子美術館(東京都世田谷区)	コナンの里(鳥取県北栄町)	杉並アニメーションミュージアム(東京都杉並区)	アンパンマンミュージアム(高知県香美市)	水木しげるロード、水木しげる記念館(鳥取県境港市)	すべて行ったことがない	計
英語版 n=1238	12 1.0%	11 0.9%	10 0.8%	9 0.7%	9 0.7%	1,003 81.0%	1,269
韓国語版 n=629	0 0.0%	6 1.0%	2 0.3%	1 0.2%	2 0.3%	566 90.0%	623
中国語(繁体字) n=201	3 1.5%	1 0.5%	3 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	178 88.6%	206
中国語(簡体字) n=147	7 4.8%	4 2.7%	2 1.4%	2 1.4%	3 2.0%	118 80.3%	167

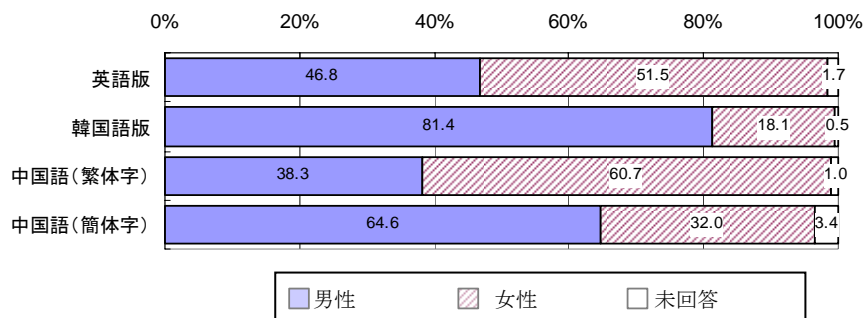


○中国語版（簡体字）では知名度とは別に、比較的様々なミュージアム等を訪れている。英語版・韓国語版・中国語版（繁体字）では、知名度に比例しジブリ美術館の来訪者が多いという結果となった。

<回答者属性>

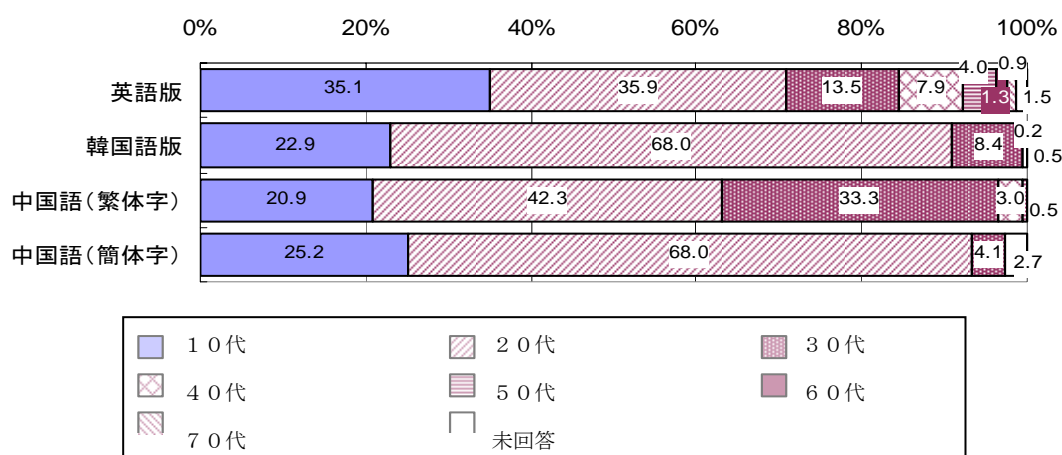
①性別

	男性	女性	未回答	計
英語版 n=1238	580 46.8%	637 51.5%	21 1.7%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	512 81.4%	114 18.1%	3 0.5%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	77 38.3%	122 60.7%	2 1.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	95 64.6%	47 32.0%	5 3.4%	147 100.0%



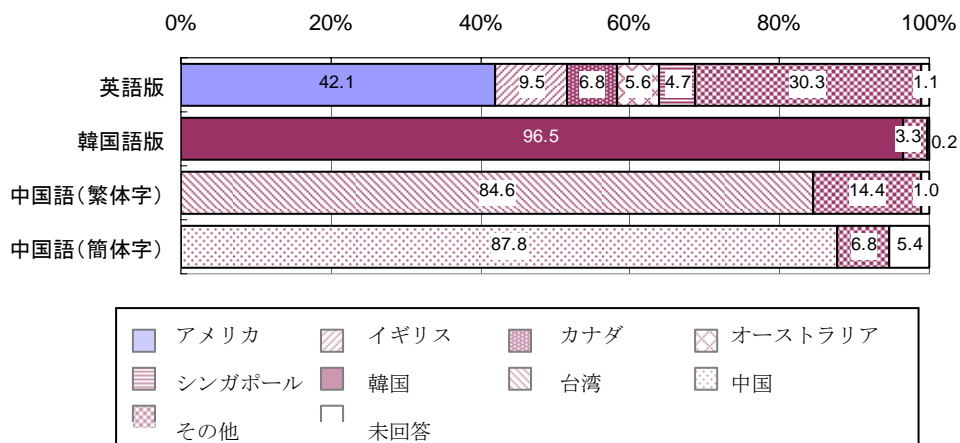
②年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	計
英語版 n=1238	434 35.1%	444 35.9%	167 13.5%	98 7.9%	50 4.0%	16 1.3%	11 0.9%	18 1.5%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	144 22.9%	428 68.0%	53 8.4%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	42 20.9%	85 42.3%	67 33.3%	6 3.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	37 25.2%	100 68.0%	6 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.7%	147 100.0%



③居住地

	アメリカ	イギリス	カナダ	オーストラリア	シンガポール	韓国	台湾	中国	その他	未回答	計
英語版 n=1238	521 42.1%	118 9.5%	84 6.8%	69 5.6%	58 4.7%	— —	— —	— —	375 30.3%	13 1.1%	1,238 100.0%
韓国語版 n=629	— —	— —	— —	— —	— —	607 96.5%	— —	— —	21 3.3%	1 0.2%	629 100.0%
中国語(繁体字) n=201	— —	— —	— —	— —	— —	— —	170 84.6%	— —	29 14.4%	2 1.0%	201 100.0%
中国語(簡体字) n=147	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	129 87.8%	10 6.8%	8 5.4%	147 100.0%



### 【一般市民へのアンケートによる調査結果】

- ・専用 WEB ページ上でアンケート調査を実施。世界各国の日本のアニメや観光に関心を持つ 2118 名から回答を得た。

#### ○各施設等の知名度

- ・国内のアニメ関連のミュージアム等の知名度は、「ジブリ美術館」「手塚治虫記念館」が各言語で高い。訪れたことのあるミュージアムも「ジブリ美術館」が多い。しかし、どこにも訪れたことのない人が 80～90%の大多数を占める。

#### ○行ってみたい場所

- ・全般的に関心の高い場所は、「コミックマーケット」「マンガ家のミュージアム」「アニメーションの世界を現実化したテーマパーク」「秋葉原（電気街）」となっている。各国の特徴としては、英語版ではマンガ・アニメーションに限らず、広く日本の文化に関心があるのに対し、韓国語版、中国語版（繁体字）、中国語版（簡体字）ではサムライや忍者といった古来の日本文化に対する関心は低い。4 地点では、「北栄町」（名探偵コナン）が特に中国語・韓国語で高くなっている。
- ・行ってみたいミュージアムは、マンガやアニメーションの専門的なものよりも、広く日本文化、あるいは広く日本のマンガやアニメーション文化について知ることのできる場所が関心を引いている。また、玩具やグッズを中心に展示販売するミュージアムも関心が高いことから、関連グッズやお土産を買うことができることも、大きな魅力であるといえよう。

#### ○参加してみたいマンガ・アニメーション関連ツアー

- ・回答者多くが、「マンガやアニメ関連の場所だけでなく、日本の有名な観光地も訪れるツアー」に参加したいと回答している。
- ・各国とも、観光目的の訪日が圧倒的に多い。次いで多い目的が買物であり、その二つを同時に適える観光地が目的地として選ばれやすいと考えられる。

- ツアーの構成としては、マンガやアニメーションだけを目的にしたものより、有名観光地も一緒に訪れるツアーが要望されている。韓国語版では比較的、マンガやアニメーションだけに的を絞ったツアーへの関心も高いが、これは一度の訪日で複数の目的を持たなくとも、地理的にも何度も訪れることが可能なためであると考えられる。
- 内容では、広く日本のマンガやアニメーションを知ることが望まれている。個別のマンガやアニメーションに関しては、英語版、韓国語版においてファン同士の集まりや、作り手に会えるツアーに関心が高い。
- 英語版では日数の希望にバラつきがあり、アジア周遊の一国としてのショートステイ、日本各地を訪れるロングステイなど、様々なツアー形態が望まれている。また、韓国語版では4・5日～1週間のツアーに多く希望が集まっているものの、気軽に訪れることのできる3日間、あるいはじっくり深く楽しめる1週間以上というツアーへのニーズも少なくない。中国語版（繁体字）、中国語版（簡体字）では3日間というツアーの希望は少なく、一つの目的だけを果たせるツアーよりも、複数の目的を果たせるツアーへのニーズが高いと考えられる。
- 日本のビジネスホテルは世界的に有名であるが、同時に日本のホテルの宿泊料の高さは旅行者にとっては厳しい問題である。結果からも見て取れるように、15ドル～40、50ドル程度の宿泊施設が大半を占めている。旅行者はできるだけ宿泊費の出費を抑えて、宿泊施設に対して、不快でない程度の安いホテル・旅館等であることが望まれているようである。